

国際物流拠点として更なる発展を！

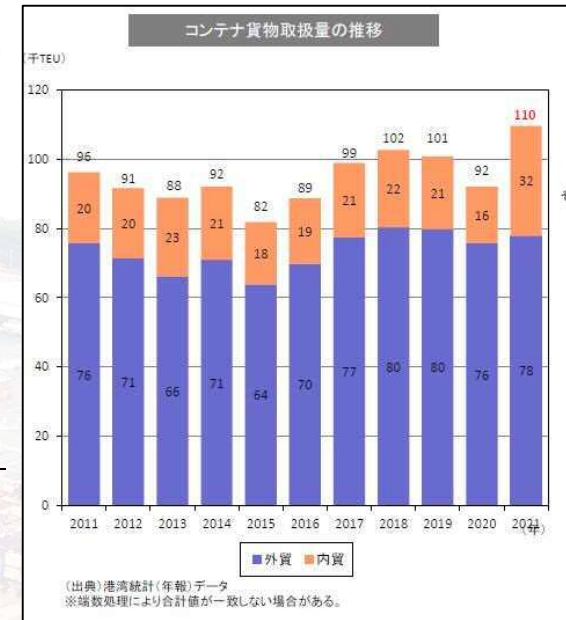
(農林水産物・食品の海外輸出など)



背景・課題

- 志布志港新若浜地区の国際コンテナターミナルは、平成21年3月に供用開始され、農畜産業を支える、南九州の海の玄関口として、以後、取扱貨物量は増加傾向
- 国は、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を令和2年11月に策定し、2030年の輸出額目標は5兆円
- 農林水産物・食品の輸出額は、計画を上回るスピードで年々増加
- 一方、南九州地域は国内有数の食料供給基地で、大きな可能性を有する
- “南九州地域の可能性”と“志布志港の地理的特性”を生かし、

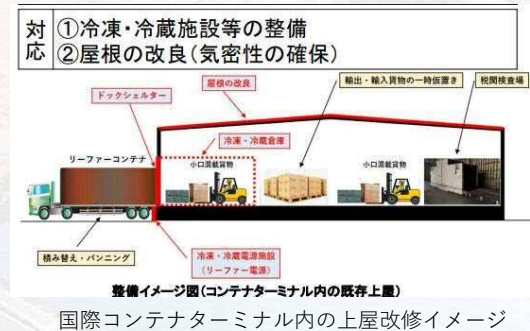
輸出货量・貨物量が
うなぎのぼり



「産地に近い、志布志港を經由した農林水産物・食品の輸出で、
第1次産業の“稼ぐ力”を向上させたい！」、その思いで事業がスタートした。

事業内容

- 令和5年5月、志布志港が“産直港湾”として国から認定！
- 市としても、農林水産物・食品の補助、小口混載の取組支援、冷凍コンテナのコンセント使用料補助など、
生産者や貿易商社などへの支援を強化！
- 農林水産物・食品の輸出拠点として、



志布志港の更なる成長・発展を目指す！！

目標とする成果等

目標とする指標	現状値 (令和2年度時点)
コンテナ貨物取扱量	10.37万TEU

目標値 (令和8年度)

12.0万TEU